

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
解剖生理学 I	1年次	必修	講義	2単位（30時間）	竹内 法子
授 業 概 要					
<p>人体の正常な構造と機能を学習する。人体を構成している組織・器官の解剖学・生理学について学び、これらの組織・器官は関連しあいながら機能していることを知ってほしい。</p>					
到 達 目 標					
<p>1) 解剖学及び生理学の用語を知る。 2) 体液について説明できる。 3) 循環器系の構造と機能、心機能の調節について説明できる。 4) 呼吸器系の構造と機能、ガス交換機能について説明できる。 5) 消化の作用と肝・胆・膵の働きを説明できる。 6) 栄養素を分類しその働きを説明できる。 7) 尿路の働きと腎臓の働きについて説明できる。 8) 中枢神経系の構造と各部位の機能、末梢神経の機能について説明できる。 9) 内分泌腺の種類と機能について説明できる。</p>					
回	学 習 内 容				担当教員
1	細胞の構造	細胞小器官の構造と働き			竹内 法子
2	組織と器官	上皮組織、支持組織、筋組織、器官系			〃
3	体液と血液	体液の組成、血液の働き			〃
4	循環器系(1)	心臓および脈管系の構造と機能			〃
5	循環器系(2)	心臓の神経支配と循環調節、リンパ循環			〃
6	呼吸器系(1)	呼吸器系の構造と機能			〃
7	呼吸器系(2)	呼吸の調節			〃
8	消化器系	消化器系の構造と機能、消化と吸収			〃
9	栄養と代謝	生体内の物質代謝			〃
10	泌尿器系(1)	泌尿器系の構造と機能			〃
11	泌尿器系(2)	尿生成とその調節			〃
12	神経系(1)	神経系の構造、中枢神経系の機能			〃
13	神経系(2)	末梢神経系の機能、筋、感覚器			〃
14	内分泌系(1)	内分泌器官の構造と機能			〃
15	内分泌系(2)	ホルモンの分泌調節			〃
学 習 方 法					
<p>医療系科目の最も基礎となる科目であり、講義の内容は多項目になるので、予習復習を十分に行い、しっかりと理解する。不明な点は必ずその場で解決すること。</p>					
評 価 方 法					
<p>学科試験により評価する。</p>					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
<p>[教科書] 人体の構造と機能 第5版 佐藤昭夫／佐伯由香 医歯薬出版</p>					